

点字について

点字ってなに？

点字とは視覚障がい者が、指で文字を読んだり、書いたりするために使う文字です。盛り上がった6点の点の組み合わせで文字や記号を表します。

点字の歴史

世界
1825年、フランスの盲人ルイ・ブライユが16歳の時に世界で初めて6つの点で触読する文字の点字を作りました。

日本
明治20年(1887年)頃、小西信八校長(東京盲学校)、石川倉次らがブライユの考案した点字を日本語に翻案。明治23年(1890)11月1日に最終的な点字選定委員会が開かれ、石川倉次案を採用することが決定しました。

この功績から、石川倉次は「日本点字の父」と呼ばれており、現在は11月1日が「日本点字制定記念日」となっています。

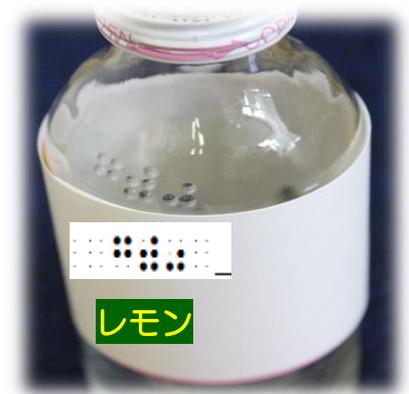
身の回りにある点字

街で見られる点字

- ・駅の発券機、料金表(行き先や料金)
- ・エレベーターの上下ボタンや何階かを示すボタン
- ・横断歩道にある信号機

家庭で見られる点字

- ・炊飯器、洗たく機などの家電
- ・お酒などの缶、調味料やジャムなどの瓶



点字の構成

「①の点」から「⑥の点」の6点(63通り)で構成

例(読み)

①	④
②	⑤
③	⑥

あ

●	○
○	○
○	○

か

●	○
○	○
○	●

わ

○	○
○	○
●	○

や

○	●
○	○
●	○

ざ

○	○	●	○
○	●	○	●
○	○	○	●

点字の特徴

- ①触図形であるため、指で触れたところを継時的に認識していきます。
- ②点字はすべて横書きです。
- ③文字の大きさは変えられません。
- ④点字は仮名文字体系です。

実際の点字

例
ヤマガタ ケンリツ ヤマガタ モーガッコー

最後に・・・

最近では、音声読み上げの進歩が著しいですが、日常生活においてはまだまだ「点字」の存在が欠かせません。日常生活の中には、点字がついている場所や物が紹介した他にも存在します。興味をもった方は是非、周りにある点字を見つけてみてください。